

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月1日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870105644		
法人名	社会福祉法人 愛寿会		
事業所名	グループホーム あいじゅ		
所在地	松山市東方町甲813 (電話) 089-963-5520		
管理者	大栄 幸枝		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	松山市持田町3丁目8-15		
訪問調査日	平成19年4月24日	評価確定日	平成19年6月25日

## 【情報提供票より】 (19年4月12日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤9人, 非常勤5人,	常勤換算11.3人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有 ( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

### (3) 利用者の概要 ( 4月12日現在 )

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	9 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.5 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定 <b>あり</b> ・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定 <b>あり</b> <b>なし</b>	指定認知症対応型通所介護
届出 <b>あり</b> <b>なし</b>	短期利用型共同生活介護
加算 <b>あり</b> ・なし	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑が並ぶのどかな場所にあり、ホームの裏手には桜並木が連なり、故郷の趣がある。母体法人が数多くの福祉事業を実施しているため、特別養護老人ホームや老人保健施設が隣接しており、支援が得られる。2ユニットが平屋の1フロアに設けられており、バリアフリー、手摺りなどにも工夫がある。家族の訪問が頻繁にあり、利用者、家族、職員が一つになって運営されており、「笑顔」と「おしゃべり」のあふれるホームである。

## 【質向上への取組状況】

- ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)  
開設一年あまりで、はじめての評価であるため、取り組みはない。
- ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)  
全職員が各自で自己評価をおこない、ミーティングをしながらまとめたが、初めての取り組みであったため、いくらかの混乱があった。
- ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)  
利用者の状況報告がほとんどで討議までに至っていない。会議で出された意見や提案を具体的に改善につなぎ、取り組み経過を確認していくなど、継続した会議とし、サービスの向上に活かせる会議とすることが望ましい。
- ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)  
苦情受付窓口を設け明示したり、ご意見箱を目に付く玄関に設置しているが、現在まで苦情はない。訪問時に声をかけてよく話しを聞くようにしている。利用者と家族からの提案で音楽のつどいを実施しているが、好評で皆で楽しんでいる。
- ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)  
併設施設の行事への参加はあるが、ホーム独自では地域との交流はない。ホームとして、町内会などに加入し、地域の長寿会に参加したり、畑づくりを教えてもらうなど日常的なつき合いができるよう工夫されることを期待する。

(別表第1の2)

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームあいじゅ

(ユニット名)

愛 ユニット

記入者(管理者)

氏名

大栄 幸枝

評価完了日

平成19年 6月 1日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔のたえない明るい暮らし、を目標とし自立支援、個人尊厳保持などを基本理念に掲げている。 (外部評価) 地域の方とのふれあいを大事にしながら「笑顔！」という理念が、これからの高齢者介護のあり方を話しているうちに、職員の声を集約してできあがったものである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 定期的に朝の申し送り時に読み上げ、再確認しながらその実践に向け取り組んでいる。 (外部評価) 職員が笑顔を忘れないで、手出しをし過ぎることなく、利用者の自立を支援している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 入居者の買い物に近所の店を利用、散歩時には近所の人と会話する等し地域に馴染める様支援し運営推進会議には、地域の民生委員やご家族に出席して頂き意見交換している。	※	今後は地域、小学校運動会への参加や広報により地域行事を調べ入居者の方に参加して頂ける様支援していきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時には、近隣の方に積極的に挨拶し会話している。民生委員の方を通じて近隣の方に来て頂く予定になっている。	※	今後は地域のボランティアの来る方の機会を設けるなどして、開かれた施設として気軽に来訪して頂ける様とり組んで行きたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 併設の施設には、季節行事毎に地域のボランティアの来訪も多い為その際にはホームの入居者の方々にも参加して頂いている。 (外部評価) 夏祭り、獅子舞のみにとどまっている。	※  ※	今後は施設行事参加だけでなく広報などで地域の行事も調べ可能な限り入居者の方々に参加して頂ける様支援して行きたい。  町内会などに加入して、地域の長寿会に参加したり、畑づくりを教えてもらうなど日常的なつきあいができるよう工夫されることを期待する。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)	※	今後の課題として話し合い取り組んでいきたい、又出来る事があれば是非参加できるよう取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員ほぼ全員参加にてのカンファレンスで意義を再確認1つ1つの項目について意見を出し合い取り組みについて話し合った。 (外部評価) 開設1年余りの為、自己評価に取り組んだばかりで、改善には至っていない。	※	評価結果をカンファレンスで職員全員に徹底し具体的な改善に皆で取り組んでいきたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議内容は、文書にして報告、又全職員に回覧し日々のサービス向上に活かせる様務めている。 (外部評価) 2ヶ月に1回運営推進会議を開催しているが、ホームの紹介と家族の意見発表がほとんどである。	※	自己評価、外部評価、改善計画まで一連の過程を気づきや振り返りを大切にしながら全員で取り組み、活用することでホームのケア・サービスの質の向上につなげていくことが求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 会議内容は、文書にして報告、又全職員に回覧し日々のサービス向上に活かせる様務めている。 (外部評価) 運営会議を連携の手立てとしている。	※	会議で出された意見や提案を具体的に改善につなぎ、取り組み経過を確認していくなど、継続した会議とし、サービスの向上に活かせる会議とすることが望ましい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 個別の相談については、ケアマネージャーが地域包括センターや在宅介護支援センター等と協力しその都度対応している。	※	今からの課題として是非機会を設けサービスの向上に取り組んでいきたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止に関する文章の回覧によりその重要性を周知徹底し、言葉使い、アングルの使用法等小さな事でも職員間で話し合い防止に努めている。	※	地域密着型サービスの最前線にあるホームが、地域が抱えている福祉ニーズを具体的に市に伝えていくことで、地域福祉の充実に貢献していくことが求められる。
				※	今後は勉強会を持ち職員のスキルアップを図り関係者との連携を取りながら個別に支援して行ける様にしたい。

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、書類の内容について口頭で説明し、理解、納得して頂けたかどうか確認しながら契約を結ぶよう努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱を玄関受付正面に設置していつでも対応出来るようにしている。	※	苦情があった場合職員全員にその事実を周知徹底し話し合い皆なで取り組みホームの運営に反映していきたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 請求書の発送時には3ヶ月に一度入居者の方直筆のお手紙に加え担当職員のコメントも付け加え近況報告をしている。 (外部評価) 健康状態は介護計画の見直し時に、金銭管理は出納帳によって定期的に報告確認している。加えて利用者本人による手紙に添えて担当職員が手紙を書いて気持ちを伝えている。	※	今後は3ヶ月に一度の報告を毎月できるよう取り組んでいきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱も設けているが運営推進会議参加のご家族には率直に意見を求めるようにしている。又、日々の面会時にも意見をうかがうようにしている。 (外部評価) 全家族に運営推進会議への参加を呼びかけて、忌憚のない意見を出してもらい家族会にかえている。	※	日頃からご家族と積極的にコミュニケーションを図り意見を出して頂き易い環境作りに努め又、その意見を運営に反映させていきたい。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々のケアの中で個々の意見、提案を話し合ったり、又月1回のカンファレンスで皆で取り組んでいる。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 可能な限り柔軟に対応出来るよう、行事等も配慮し細かな調整に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員間の問題については、管理者、当事者で問題解決に向けた話し合い、又止む得ない事情での離職は利用者に伝えないよう配慮している。 (外部評価) 2ユニットを共有して勤務しており、1年余りで8人の異動がある。	※	利用者が職員の名前を覚え、信頼して安定した馴染みの関係のもとで生活できるように配慮していく取り組みが求められる。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修、講習の案内は機会ある毎に職員回覧し参加を募ったり、管理者が直接参加を通知して、スキルアップに努めている。 (外部評価) 研修についての情報は提供している。勤務ローテーションの都合もあり、取り組めない職員もいる。	※	パート職員も含め、個々の立場、経験、認知症について、更に地域密着型についての理解度、ケアの実践度の違いなどを鑑み、段階的に計画を立てて、研修を重ねていく仕組みをつくることが望まれる。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)  (外部評価) 母体が多く福祉事業を展開しているので、系列施設内での交流はある。	※	今後機会があれば取り組んで行きたい。  近隣のホームから相互研修の誘いを受けているので、ネットワークをつくって様々な形の交流や情報交換を通して、質の向上に取り組まれる事を期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ストレス軽減マニュアル作成し回覧したり参考書籍の紹介、又個別の相談を受けるなどして取り組んでいる。		4月24日(火)うつ病についての勉強会があいじゅホールにてある為希望職員は極力参加する予定。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 可能な限り努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていることを本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 個別に話す機会を設け、日常的な会話の中から本人の思いを最大限に汲み取ることが出来るよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 日頃から積極的にコミュニケーションを図り、話し易い環境作りし意見を受け止めるよう努めている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 関連機関と日頃から密に連携を図りその都度、早い対応が出来るように努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居時には可能な限り関係者、家族から情報を得る努力をし無理なく環境に慣れて頂くよう配慮している。 (外部評価) 最初はホームの見学に始まり、食事を一緒にしていただいたり、2週間くらい生活をしてもらい、できるだけ利用者自身の話の中から、希望に添えるようなサービスを考えるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者の感情を受容し、職員1人1人から誠実に対応し、アットホーム的な関係作りに努めている。 (外部評価) 様々な家事を一緒にこなしながら、利用者から暮らしの中での心配りを学んでいる。家族さんの楽器演奏にあわせて全員で声をあげて、懐かしい歌をうたったりもしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族とも積極的にコミュニケーションを図り入居者の方の状況を一緒に受け止めお互いに協力し合いながら入居者の方に安定した生活を送って頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人だけでなくご家族の気持ちも伺い状況を見ながら調整に努め、又関係が良くなった例もあり今後も努力して行きたい。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居者の方の中には、地元以外の方も居られ人との関係には努めているが場所との関係は出来ていない。	※	生まれた場所や思い出の場所を訪ねる機会を設けご本人に懐かしさを感じて頂ける様支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員同士が入居者の様子について感じる事とを日々ケアの中で話し合い、その都度対応しながら良い関係が保てるよう支援している。	※	日常生活動作のレベルの違いが顕著であるので個別ケアを重視しながらも全体のバランスも保てるよう支援して行きたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 何かあれば相談にのったり、必要な情報を提供する等して努めている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

#### 1. 一人ひとりの把握

33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人の思いは、機会あるごとに確認し困難な場合も職員間で良く話し合った上で本人本位になるよう努めている。 (外部評価) 日々会話を重ねることで、ことばの端々から利用者の思いや希望をくみ取るようにしている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	※	同居されていなかったご家族も多く情報収集は不十分、ご家族の理解を得て協力を求め実態把握に努めて行きたい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケース記録、業務日誌、申し送りノート等により職員間で報告し合い日々把握出来るように努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人の意思確認、ご家族とも密に連絡をとり 介護計画作成に反映できるよう努めている。	※	担当職員も決め、ご家族への連絡を密にしながら コミュニケーションを図り、より良い介護計画の作 成に向け動き出している。
			(外部評価) 担当者が利用者の暮らしぶりの中から課題を見つ け、家族の意見も汲み取り、提案して介護計画を 作成している。	※	利用者、家族の意見をよく聞きとり取り入れるこ とは勿論、職員一人ひとりのちょっとした気づき を大切に取入れていくことで、チームとして介 護計画をとらえていく意識づけを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価) 通常は3ヶ月で見直しをしているが、利用者の状 態によって、1ヶ月毎に見直しをしている。	※	個別能力、計画に応じた期間も出来る限り配慮し 努めていきたい。
			(外部評価) 通常は3ヶ月で見直しをしているが、利用者の状 態によって、1ヶ月毎に見直しをしている。	※	介護日誌の記載の仕方を全職員でよく話し合い、 常に介護計画の評価と連係したものにすること で、現状に即したものになることが望まれる。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価) 記録の書き方も、ケアプランを中心としたもの に統一し、又申し送りノート、日々の話し合いを しながら反映できるよう努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価) 併設の施設も多くご本人、ご家族の希望に細や かに対応出来るよう努めている。		
			(外部評価) 地域包括支援センターから情報を収集し、いきい きデイの利用などを考えている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ご家族の方の紹介によるボランティアの活用したり、民生委員の方を通じて近所の方に来訪して頂く予定になっている。	※	外出の機会に備え駐在所の方に協力をお願いしたり、今後は支所、公報を通じ地域資源との協働に努めて行きたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 併設の、介護支援センターや、包括支援センター、又引き続き関係のあるケアマネジャーとも関わりを持ちながら柔軟に対応出来るよう努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとは常に対応出来るように連絡を取り合い又看取りケアにも対応出来るようマニュアルも作成している。	※	権利擁護については包括支援センターの方により職員の勉強会を持つ予定になっている。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 10年来のかかりつけの医師による支援を受けている方も居られる。今からもご本人が安心して出来るように支援して行きたい。 (外部評価) 往診可能なかかりつけ医を確保している。利用者の主治医とのかかわりも大事にしており、日常の状況を提供しながら定期的に受診している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医との連絡を密に取り利用者の状態の変化をその都度報告し、十分な対応が出来るよう努めている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 連絡を密にとり、利用者の状態を細かに報告、相談しながら日々のケアに活かしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院後も出来るだけ病院に訪れ、利用者の状態を把握し退院に向け病院と連携を取りながら帰宅後も十分なケアが出来るよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取りケアのマニュアル作成し、柔軟に対応出来るよう努め、ご家族とも常にコミュニケーションを図り充分な対応が出来るよう努めている。 (外部評価) 「看取りケアに関する基本方針」を提示し、システムとして常に家族を含めて話し合っている。	※	看取りケア、重度化に向け職員間にも方針を徹底し、又医師との連携を図り全員で方針を共有出来る様努めて行きたい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)	※	今からの課題として、話し合い取り組んで行きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)	※	事前に情報交換、意見交換しながら利用者の方のダメージが最小限になるよう努めている。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録を書く場所がオープンになっている。 (外部評価) 言葉遣いには常に注意をして声かけをしている。入浴や排泄の介助にはできる限り同性が対応するなどの配慮をしている。	※	言葉かけ対応についてはカンファレンス、申し送りにて勉強し日々のケアの中でお互いに注意し合い、又記録については充分注意し記録後はワーカ室に戻す等配慮して行きたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々の生活、会話の中から意志を汲み取るよう努め、口を出し過ぎず、手を出し過ぎず本人の力が最大限発揮し生き活きと暮らせるよう努めている。	※	職員との会話ではオープンクエスチョンにより意志表出し易いよう努め、又日頃から信頼関係の構築に努めご本人の納得いく生活が送れるよう支援して行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 畑仕事をしたい、散歩をしたい等希望時にはすぐに対応出来るよう職員間で協力しながら支援している。 (外部評価) 利用者に選択してもらう場面をできるだけつくり、「一緒に・・・」「いやじゃなかったら・・・」という気持ちで支援している。	※	今後もホーム横の畑で菜園作ったり、外出の機会を増やしたり又日々のホーム内での生活も個々の思いに添って充実したものになるよう努めて行きたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ホームでの訪問美容の利用される方、行きつけの美容院を利用される方など希望に合わせた対応をしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) おかずは、併施設厨房にて準備してもらっているがご飯、汁物はホームで作り、盛り付け、配膳等利用者と一緒におこなっている。 (外部評価) 配膳、片付けは利用者と一緒に行っている。職員は各自の弁当を持参しているが、好物の話や、食材の話などをしながら食事を楽しんでいる。	※	今後は汁物など一品増やしたり、手作りおやつ等の機会を増やす等して寄り添いながら個人の力を発揮し食事が楽しめる様支援して行きたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食事制限、水分制限がある方も居られる為他の利用者の方とのバランスを取りながら出来る限り対応している。	※	個別の買い物、ホーム内での駄菓子屋さんなど今後も一人一人に合わせてながら色々楽しんで満足して頂けるよう工夫して行きたい。
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) ご本人の自尊心を傷つけないよう個々の力やその状態に合わせてケアプランにも取り入れながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 現在は、入浴の時間帯を決め週3回のペースで入浴出来る様準備し、その日の体調、希望により自己決定して頂き、入浴を楽しんで頂いている。 (外部評価) 一人ずつ好きな時間にゆっくりと入浴している。車いすの方も二人で介助して、通常の浴槽で入ってもらっている。	※	今後利用者の方からの希望があればご家族とも連絡の上、その対応について職員間で話し合い極力希望にそった支援が出来る様取り組んで行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中その方のペースや、好みに応じて休息できるよう場所や、状況作りに努めている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その方の力や好みに応じその状況作りに努め力を発揮して頂けるよう支援している。 <hr/> (外部評価) 新聞や本をよく読まれる方、園芸、水やり、編み物、ちぎり絵、縫い物など様々な活動を当たり前に行っている。	※	今後も色々工夫し、力が発揮出来る場面作りに努め屋内での行事や外出を増やすなど支援して行きたい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理されている方も数人居られる。		駄菓子屋さんなどまずホーム内で現金支払いの練習をしながら力を伸ばし今後長期的に支援して行きたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 30分～1時間位職員と一緒に散歩、徒歩での買い物や希望があれば車での買い物など支援している。 <hr/> (外部評価) 散歩、地藏さんのお参り、買い物（スーパー、移動販売）、外食などよく外へ出かけている。	※	今後もケアプランに取り入れながら個別の希望に合わせた外出ができるよう支援して行きたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご家族によっては、旅行されたり、日帰りで観光に出かけられている。	※	今後は外出の機会を増やし色々な所へ出かけられるよう支援して行きたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 3ヶ月に一度、請求書の送付時に利用者直筆の手紙を同封したり、昔馴染みの方との手紙のやり取りをされたり、又希望時にはワーカー室から電話出来る様、その都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 職員には明るく、きちんとした挨拶で対応するよう徹底し、居心地良く過して頂けるよう努めている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 具体的な内容については、回覧、カンファレンスにより職員が正しく理解できるよう取り組み拘束しないケアの実践に努めている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関出入口については、自動ロックになっている。天気の良い日は、戸外にしやすいよう開放している。 (外部評価) 玄関が建物の中央にあり、どこからも見渡せる造りにしている。玄関前に縁台やベンチを備えており、利用者は自由に外へ出ている。	※	今後の課題として常時ロック解錠できる方向に向け取り組んでいきたい。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間で協力しながら一人ひとりの状態に合わせながら把握し、安全確保に努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 基本的には刃物、洗剤類は最小限のもの以外は鍵のかかる場所に保管しているが、利用者の方に応じ自己管理出来る様支援している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 各種マニュアルは作成し、職員に回覧し事故報告後のカンファレンスもその都度行い再発防止に取り組んでいる。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師による急変時の講習や消防による救急の研修参加している。	※	今後も繰り返しの訓練を実施するとともに研修などに定期的に参加し、又職員全員が対応できるようにしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月利用者参加の消防避難訓練実施し避難方法、場所を確認、又地域の方を含めたホットラインを作成し緊急時に備えている。 (外部評価) 毎月1回、利用者を含めて避難訓練を実施している。混乱なく外の広場に出ることができる。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)	※	外出に関しては事前にご家族に連絡、了承を得た上で外出するようにし、運営推進会議ではご家族とも話し合い出来る限り抑圧感のない暮らしに向け努力していきたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員間で常に報告し合い情報共有し又医師、看護師とも連携を取り早めに対応出来るように努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋は、ケースにはさんで常に確認できるようにし、服薬変更は、申し送りノート等で職員全員に徹底出来るよう努めている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便は、ケアチェックに記入し便秘を見逃さず水分量にも注意し十分な水分を取って頂けるよう取り組んでいる。	※	運動不足解消に、リハビリ体操や散歩などどんどん取り入れ便秘予防に取り組んでいきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 入れ歯は、毎晩口腔ケア後に預かり又週1回は、洗剤使用し清潔を保てるよう支援し、汚れ具合により個別の対応も行っている。	※	主治医との連携を図り、実施指導を受けながら進めている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士による栄養管理、必要な方は水分チェックし、状態を把握しながら支援している。 (外部評価) 栄養士の管理のもと献立が作られている。水分摂取には特に気をつけてチェック表に記録している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取組みがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアル作成し職員にも徹底し又ノロウイルスについては担当を決めホーム全体の消毒を毎日おこなっている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ふきんは、毎日ハイター消毒し、食器、調理器具はその都度乾燥機使用にて殺菌、又食材料に関してはホーム内で調理した物は厨房に検食物提出しチェックしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関外にはスロープもあり、ドアから室内まではフラットになっている。玄関先には花を飾ったり、人形を飾ったりして工夫している。	※	近隣の方の来訪はまだなので気軽にきて頂ける様工夫して行きたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関、リビングとも明るく窓からの光も十分入るような造りになっている。  (外部評価) 節句の人形や季節の草花が盛りだくさんに飾られ季節感を演出している。居間の一角であったり、玄関のフロアであったり、あちこちにお気に入りのスペースがある。	※	リビングには飾りはあるが今後はもっと季節感のある飾り付けに取り組みで行きたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者の、好みに応じて個別又は、少人数で過ごして頂ける様工夫し、対応に心がけている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ベット、タンスは備え付けを使用される方が多いが中にはタンス、こたつ、ベット自分の物を使用されている方もおられる。  (外部評価) ベットや家具は利用者の希望のものを使っている。畳にされている方もある。鉢花、テレビなどを持ち込み自分の居場所を確保している。	※	希望があれば出来る限り本人の馴染みの物を使用して頂けるよう支援して行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 消臭には、換気扇、窓を開けるなど換気を心掛け、暖房使用時は、リビング、居室に、加湿タオルを掛けるなどこまめに行っている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) リビング、廊下には周囲に手すりもあり安全に歩行出来るよう配慮され椅子、ソファの配置も使いやすいよう工夫している。	※	浴室、脱衣場には手すりが不十分と思われるので今後色々工夫して安全確保を心がけて行きたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力は、職員間で話し合い把握し、状態に応じ可能な限り、自立した生活を送れるように支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	日々の生活の中での会話や様子などから思いを汲み取れるよう、職員間で話し合いながらケアにあたっている。
89	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	ゆったり音楽を聴いたり、戸外にて外気浴したりして過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	食事、おやつ時以外は、居室、リビングなど各自が過ごしたい場所で過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	一人ひとりの趣味や力に応じ、喜びを感じて頂き生き生きとした暮らしが送れるよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	畑仕事、買い物など利用者の希望にそってできる限り対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	医療従事者とも連携を取り状態に応じて対応し、日々のケアでも見守りを怠らず事故防止にも努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	利用者一人ひとりに合わせて、その都度その場に応じた対応を心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	日頃からコミュニケーションを図り、問題表出に努めるとともに誠実に対応し信頼関係構築に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	地域の人々などの訪問はあるが回数は少ないので今後の課題として開かれたホームを目指し、いろいろな方に訪問して頂けるよう取り組んでいきたい。



(別表第1の2)

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームあいじゅ

(ユニット名)

寿 ユニット

記入者(管理者)  
氏名

大栄 幸枝

評価完了日

平成19年 6月 1日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔のたえない明るい暮らし、を目標とし自立支援、個人尊厳保持などを基本理念に掲げている。 (外部評価) 地域の方とのふれあいを大事にしながら「笑顔！」という理念が、これからの高齢者介護のあり方を話しているうちに、職員の声を集約してできあがったものである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 定期的に朝の申し送り時に読み上げ、再確認しながらその実践に向け取り組んでいる。 (外部評価) 職員が笑顔を忘れないで、手出しをし過ぎることなく、利用者の自立を支援している。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 入居者の買い物に近所の店を利用、散歩時には近所の人と会話する等し地域に馴染める様支援し運営推進会議には、地域の民生委員やご家族に出席して頂き意見交換している。	※	今後は地域、小学校運動会への参加や広報により地域行事を調べ入居者の方に参加して頂ける様支援していきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時には、近隣の方に積極的に挨拶し会話している。民生委員の方を通じて近隣の方に来て頂く予定になっている。	※	今後は地域のボランティアの来る方の機会を設けるなどして、開かれた施設として気軽に来訪して頂ける様とり組んでいきたい。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 併設の施設には、季節行事毎に地域のボランティアの来訪も多い為その際にはホームの入居者の方々にも参加して頂いてる。 (外部評価) 夏祭り、獅子舞のみにとどまっている。	※  ※	今後は施設行事参加だけでなく広報などで地域の行事も調べ可能な限り入居者の方々に参加して頂ける様支援して行きたい。  町内会などに加入して、地域の長寿会に参加したり、畑づくりを教えてもらうなど日常的なつきあいができるよう工夫されることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)	※	今後の課題として話し合い取り組んで行きたい、又出来る事があれば是非参加できるように取り組んで行きたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員ほぼ全員参加にてのカンファレンスで意義を再確認1つ1つの項目について意見を出し合い取り組みについて話し合った。 (外部評価) 開設1年余りの為、自己評価に取り組んだばかりで、改善には至っていない。	※	評価結果をカンファレンスで職員全員に徹底し具体的な改善に皆で取り組んで行きたい。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議内容は、文書にして報告、又全職員に回覧し日々のサービス向上に活かせる様務めている。 (外部評価) 2ヶ月に1回運営推進会議を開催しているが、ホームの紹介と家族の意見発表がほとんどである。	※	会議で出された意見や提案を具体的に改善につなぎ、取り組み経過を確認していくなど、継続した会議とし、サービスの向上に活かせる会議とすることが望ましい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)  (外部評価) 運営会議を連携の手立てとしている。	※	今からの課題として是非機会を設けサービスの向上に取り組んで行きたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 個別の相談については、ケアマネージャーが地域包括センターや在宅介護支援センター等と協力しその都度対応している。	※	今後は勉強会を持ち職員のスキルアップを図り関係者との連携を取りながら個別に支援して行ける様にしたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止に関する文章の回覧によりその重要性を周知徹底し、言葉使い、アングルの使用法等小さな事でも職員間で話し合い防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、書類の内容について口頭で説明し、理解、納得して頂けたかどうか確認しながら契約を結ぶよう努めている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱を玄関受付正面に設置していつでも対応出来るようにしている。	※	苦情があった場合職員全員にその事実を周知徹底し話し合い皆なで取り組みホームの運営に反映していきたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 請求書の発送時には3ヵ月に一度入居者の方直筆のお手紙に加え担当職員のコメントも付け加え近況報告をしている。 (外部評価) 健康状態は介護計画の見直し時に、金銭管理は出納帳によって定期的に報告確認している。加えて利用者本人による手紙に添えて担当職員が手紙を書いて気持ちを伝えている。	※	今後は3ヶ月に一度の報告を毎月できるよう取り組んでいきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱も設けているが運営推進会議参加のご家族には率直に意見を求めるようにしている。又、日々の面会時にも意見をうかがうようにしている。 (外部評価) 全家族に運営推進会議への参加を呼びかけて、忌憚のない意見を出してもらい家族会にかえている。	※	日頃からご家族と積極的にコミュニケーションを図り意見を出して頂き易い環境作りに努め又、その意見を運営に反映させていきたい。
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々のケアの中で個々の意見、提案を話し合ったり、又月1回のカンファレスで皆で取り組んでいる。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 可能な限り柔軟に対応出来るよう、行事等も配慮し細かな調整に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員間の問題については、管理者、当事者で問題解決に向けた話し合い、又止む得ない事情での離職は利用者に伝えないよう配慮している。 (外部評価) 2ユニットを共有して勤務しており、1年余りで8人の異動がある。	※	利用者が職員の名前を覚え、信頼して安定した馴染みの関係のもとで生活できるように配慮していく取組みが求められる。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修、講習の案内は機会ある毎に職員回覧し参加を募ったり、管理者が直接参加を通知して、スキルアップに努めている。 (外部評価) 研修についての情報は提供している。勤務ローテーションの都合もあり、取り組めない職員もいる。	※	パート職員も含め、個々の立場、経験、認知症について、更に地域密着型についての理解度、ケアの実践度の違いなどを鑑み、段階的に計画を立てて、研修を重ねていく仕組みをつくることが望まれる。
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)  (外部評価) 母体が多く福祉事業を展開しているので、系列施設内での交流はある。	※	今後機会があれば取り組んで行きたい。  近隣のホームから相互研修の誘いを受けているので、ネットワークをつくって様々な形の交流や情報交換を通して、質の向上に取り組まれる事を期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) ストレス軽減マニュアル作成し回覧したり参考書籍の紹介、又個別の相談を受けるなどして取り組んでいる。		4月24日(火)うつ病についての勉強会があいじゆホールにてある為希望職員は極力参加する予定。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 可能な限り努めている。		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 個別に話す機会を設け、日常的な会話の中から本人の思いを最大限に汲み取ることが出来るよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 日頃から積極的にコミュニケーションを図り、話し易い環境作りし意見を受け止めるよう努めている。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 関連機関と日頃から密に連携を図りその都度、早い対応が出来るように努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居時には可能な限り関係者、家族から情報を得る努力をし無理なく環境に慣れて頂くよう配慮している。 (外部評価) 最初はホームの見学に始まり、食事を一緒にしていただいたり、2週間くらい生活してもらい、できるだけ利用者自身の話の中から、希望に添えるようなサービスを考えるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 入居者の感情を受容し、職員1人1人から誠実に対応し、アットホーム的な関係作りに努めている。 (外部評価) 様々な家事を一緒にこなしながら、利用者から暮らしの中での心配りを学んでいる。家族さんの楽器演奏にあわせて全員で声をあげて、懐かしい歌をうたったりもしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族とも積極的にコミュニケーションを図り入居者の方の状況を一緒に受け止めお互いに協力し合いながら入居者の方に安定した生活を送って頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人だけでなくご家族の気持ちも伺い状況を見ながら調整に努め、又関係が良くなった例もあり今後も努力して行きたい。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居者の方の中には、地元以外の方も居られ人との関係には努めているが場所との関係は出来ていない。	※	生まれた場所や思い出の場所を訪ねる機会を設けご本人に懐かしさを感じて頂ける様支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員同士が入居者の様子について感じる事とを日々ケアの中で話し合い、その都度対応しながら良い関係が保てるよう支援している。	※	個性の違いが顕著で相性の合う人、合わない人との関係性がよく保てるように支援して行きたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 何かあれば相談にのったり、必要な情報を提供する等して努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人の思いは、機会あるごとに確認し困難な場合も職員間で良く話し合った上で本人本位になるよう努めている。 (外部評価) 日々会話を重ねることで、ことばの端々から利用者の思いや希望をくみ取るようにしている。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	※	同居されていなかったご家族も多く情報収集は不十分、ご家族の理解を得て協力を求め実態把握に努めて行きたい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) ケース記録、業務日誌、申し送りノート等により職員間で報告し合い日々把握出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人の意思確認、ご家族とも密に連絡をとり介護計画作成に反映できるよう努めている。	※	担当職員も決め、ご家族への連絡を密にしながらコミュニケーションを図り、より良い介護計画の作成に向け動き出している。
			(外部評価) 担当者が利用者の暮らしぶりの中から課題を見つけ、家族の意見も汲み取り、提案して介護計画を作成している。	※	利用者、家族の意見をよく聞きとり取り入れることは勿論、職員一人ひとりのちょっとした気づきを大切に取り入れていくことで、チームとして介護計画をとらえていく意識づけを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)	※	個別能力、計画に応じた期間も出来る限り配慮し努めていきたい。
			(外部評価) 通常は3ヶ月で見直しをしているが、利用者の状態によって、1ヶ月毎に見直しをしている。	※	介護日誌の記載の仕方を全職員でよく話し合い、常に介護計画の評価と関係したものにすることで、現状に即したものになることが望まれる。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 記録の書き方も、ケアプランを中心としたものに統一し、又申し送りノート、日々の話し合いをしながら反映できるよう努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設の施設も多くご本人、ご家族の希望に細やかに対応出来るよう努めている。  (外部評価) 地域包括支援センターから情報を収集し、いきいきデイの利用などを考えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ご家族の方の紹介によるボランティアの活用したり、民生委員の方を通じて近所の方に来訪して頂く予定になっている。	※	外出の機会に備え駐在所の方に協力をお願いしたり、今後は支所、公報を通じ地域資源との協働に努めて行きたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 併設の、介護支援センターや、包括支援センター、又引き続き関係のあるケアマネジャーとも関わりを持ちながら柔軟に対応出来るよう努めている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとは常に対応出来るように連絡を取り合い又看取りケアにも対応出来るようマニュアルも作成している。	※	権利擁護については包括支援センターの方により職員の勉強会を持つ予定になっている。
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 10年来のかかりつけの医師による支援を受けている方も居られる。今からもご本人が安心出来るように支援して行きたい。 (外部評価) 往診可能なかかりつけ医を確保している。利用者の主治医とのかかわりも大事にしており、日常の状況を提供しながら定期的に受診している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医との連絡を密に取り利用者の状態の変化をその都度報告し、充分な対応が出来るよう努めている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 連絡を密にとり、利用者の状態を細かに報告、相談しながら日々のケアに活かしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院後も出来るだけ病院に訪れ、利用者の状態を把握し退院に向け病院と連携を取りながら帰宅後も十分なケアが出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取りケアのマニュアル作成し、柔軟に対応出来るよう努め、ご家族とも常にコミュニケーションを図り十分な対応が出来るよう努めている。 (外部評価) 「看取りケアに関する基本方針」を提示し、システムとして常に家族を含めて話し合っている。	※	看取りケア、重度化に向け職員間にも方針を徹底し、又医師との連携を図り全員で方針を共有出来る様努めて行きたい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)	※	今からの課題として、話し合い取り組んで行きたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)	※	事前に情報交換、意見交換しながら利用者の方のダメージが最小限になるよう努めている。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 記録を書く場所がオープンになっている。 (外部評価) 言葉遣いには常に注意をして声かけをしている。入浴や排泄の介助にはできる限り同性が対応するなどの配慮をしている。	※	言葉かけ対応についてはカンファレンス、申し送りにて勉強し日々のケアの中でお互いに注意し合い、又記録については充分注意し記録後はワーカ室に戻す等配慮して行きたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々の生活、会話の中から意志を汲み取るよう努め、口を出し過ぎず、手を出し過ぎず本人の力が最大限発揮し活き活きと暮らせるよう努めている。	※	職員との会話ではオープンクエスチョンにより意志表出し易いよう努め、又日頃から信頼関係の構築に努めご本人の納得いく生活が送れるよう支援して行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 畑仕事をしたい、散歩をしたい等希望時にはすぐに対応出来るよう職員間で協力しながら支援している。 (外部評価) 利用者に選択してもらおう場面をできるだけつくり、「一緒に・・・」「いやじゃなかったら・・・」という気持ちで支援している。	※	今後もホーム横の畑で菜園作ったり、外出の機会を増やしたり又日々のホーム内での生活も個々の思いに添って充実したものになるよう努めて行きたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ホームでの訪問美容の利用される方、行きつけの美容院を利用される方など希望に合わせた対応をしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) おかずは、併設施設厨房にて準備してもらっているがご飯、汁物はホームで作り、盛り付け、配膳等利用者と一緒にこなしている。 (外部評価) 配膳、片付けは利用者と一緒にしている。職員は各自の弁当を持参しているが、好物の話や、食材の話などをしながら食事を楽しんでいる。	※	今後は汁物など一品増やしたり、手作りおやつ等の機会を増やす等して寄り添いながら個人の力を発揮し食事が楽しめる様支援して行きたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食事制限、水分制限がある方も居られる為他の利用者の方とのバランスを取りながら出来る限り対応している。	※	個別の買い物、ホーム内での駄菓子屋さんなど今後も一人一人に合わせながら色々楽しんで満足して頂けるよう工夫して行きたい。
56		○気持ちいい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	(自己評価) ご本人の自尊心を傷つけないよう個々の力やその状態に合わせてケアプランにも取り入れながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 現在は、入浴の時間帯を決め週3回のペースで入浴出来る様準備し、その日の体調、希望により自己決定して頂き、入浴を楽しんで頂いている。 (外部評価) 一人ずつ好きな時間にゆっくりと入浴している。車いすの方も二人で介助して、通常の浴槽で入浴してもらっている。	※	今後利用者の方からの希望があればご家族とも連絡の上、その対応について職員間で話し合い極力希望にそった支援が出来る様取り組んで行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中その方のペースや、好みに応じて休息できるような場所や、状況作りに努めている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) その方の力や好みに応じその状況作りに努め力を発揮して頂けるよう支援している。 <hr/> (外部評価) 新聞や本をよく読まれる方、園芸、水やり、編み物、ちぎり絵、縫い物など様々な活動を当たり前に行っている。	※	今後も色々工夫し、力が発揮出来る場面作りに努め屋内での行事や外出を増やすなど支援して行きたい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自己管理されている方も数人居られる。		駄菓子屋さんなどまずホーム内で現金支払いの練習をしながら力を伸ばし今後長期的に支援して行きたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 30分～1時間位職員と一緒に散歩、徒歩での買い物や希望があれば車での買い物など支援している。 <hr/> (外部評価) 散歩、地藏さんのお参り、買い物（スーパー、移動販売）、外食などよく外へ出かけている。	※	今後もケアプランに取り入れながら個別の希望に合わせた外出ができるよう支援して行きたい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご家族によっては、旅行されたり、日帰りで観光に出かけられている。	※	今後は外出の機会を増やし色々な所へ出かけられるよう支援して行きたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 3ヶ月に一度、請求書の送付時に利用者直筆の手紙を同封したり、昔馴染みの方との手紙のやり取りをされたり、又希望時にはワーカー室から電話出来る様、その都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 職員には明るく、きちんとした挨拶で対応するよう徹底し、居心地良く過して頂けるよう努めている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 具体的な内容については、回覧、カンファレンスにより職員が正しく理解できるよう取り組み拘束しないケアの実践に努めている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関出入口については、自動ロックになっている。天気の良い日は、戸外にしやすいよう開放している。 (外部評価) 玄関が建物の中央にあり、どこからも見渡せる造りにしている。玄関前に縁台やベンチを備えており、利用者は自由に外へ出ている。	※	今後の課題として常時ロック解錠できる方向に向け取り組んで行きたい。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間で協力しながら一人ひとりの状態に合わせながら把握し、安全確保に努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 基本的には刃物、洗剤類は最小限のもの以外は鍵のかかる場所に保管しているが、利用者の方に応じ自己管理出来る様支援している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 各種マニュアルは作成し、職員に回覧し事故報告後のカンファレンスもその都度行い再発防止に取り組んでいる。		
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師による急変時の講習や消防による救急の研修参加している。	※	今後も繰り返しの訓練を実施するとともに研修などに定期的に参加し、又職員全員が対応できるようにして行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 毎月利用者参加の消防避難訓練実施し避難方法、場所を確認、又地域の方を含めたホットラインを作成し緊急時に備えている。 (外部評価) 毎月1回、利用者を含めて避難訓練を実施している。混乱なく外の広場に出ることができる。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)	※	外出に関しては事前にご家族に連絡、了承を得た上で外出するようにし、運営推進会議ではご家族とも話し合い出来る限り抑圧感のない暮らしに向け努力していきたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員間で常に報告し合い情報共有し又医師、看護師とも連携を取り早めに対応出来るように努めている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋は、ケースにはさんで常に確認できるようにし、服薬変更は、申し送りノート等で職員全員に徹底出来るよう努めている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便は、ケアチェックに記入し便秘を見逃さず水分量にも注意し十分な水分を取って頂けるよう取り組んでいる。	※	運動不足解消に、リハビリ体操や散歩などどんどん取り入れ便秘予防に取り組んでいきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 入れ歯は、毎晩口腔ケア後に預かり又週1回は、洗剤剤使用し清潔を保てるよう支援し、汚れ具合により個別の対応も行っている。	※	主治医との連携を図り、実施指導を受けながら進めている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士による栄養管理、必要な方は水分チェックし、状態を把握しながら支援している。 (外部評価) 栄養士の管理のもと献立が作られている。水分摂取には特に気をつけてチェック表に記録している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアル作成し職員にも徹底し又ノロウイルスについては担当を決めホーム全体の消毒を毎日おこなっている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ふきんは、毎日ハイター消毒し、食器、調理器具はその都度乾燥機使用にて殺菌、又食材料に関してはホーム内で調理した物は厨房に検食物提出しチェックしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関外にはスロープもあり、ドアから室内まではフラットになっている。玄関先には花を飾ったり、人形を飾ったりして工夫している。	※	近隣の方の来訪はまだなので気軽に来て頂ける様工夫して行きたい。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関、リビングとも明るく窓からの光も十分入るような造りになっている。 <hr/> (外部評価) 節句の人形や季節の草花が盛りだくさんに飾られ季節感を演出している。居間の一角であったり、玄関のフロアであったり、あちこちにお気に入りのスペースがある。	※	リビングには飾りはあるが今後はもっと季節感のある飾り付けに取り組んで行きたい。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 利用者の、好みに応じて個別又は、少人数で過ごして頂ける様工夫し、対応に心がけている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ベット、タンスは備え付けを使用される方が多いが中にはタンス、こたつ、ベット自分の物を使用されている方もおられる。 <hr/> (外部評価) ベットや家具は利用者の希望のものを使っている。畳にされている方もある。鉢花、テレビなどを持ち込み自分の居場所を確保している。	※	希望があれば出来る限り本人の馴染みの物を使用して頂けるよう支援して行きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 消臭には、換気扇、窓を開けるなど換気を心掛け、暖房使用時は、リビング、居室に、加湿タオルを掛けるなどこまめに行っている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) リビング、廊下には周囲に手すりもあり安全に歩行出来るよう配慮され椅子、ソファの配置も使いやすいよう工夫している。	※	浴室、脱衣場には手すりが不十分と思われるので今後色々工夫して安全確保を心がけて行きたい。
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力は、職員間で話し合い把握し、状態に応じ可能な限り、自立した生活を送れるように支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	日々の生活の中での会話や様子などから思いを汲み取れるよう、職員間で話し合いながらケアにあたっている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	ゆったり音楽を聴いたり、戸外にて外気浴したりして過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	食事、おやつ時以外は居室、リビングなど各自が過ごしたい場所で過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	一人ひとりの趣味や力に応じ、喜びを感じて頂き生き生きとした暮らしが送れるよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	畑仕事、買い物など利用者の希望にそってできる限り対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	医療従事者とも連携を取り状態に応じて対応し、日々のケアでも見守りを怠らず事故防止にも努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	利用者一人ひとりに合わせて、その都度その場に応じた対応を心掛けている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	日頃からコミュニケーションを図り、問題表出に努めるとともに誠実に対応し信頼関係構築に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	地域の人々などの訪問はあるが回数は少ないので今後の課題として開かれたホームを目指し、いろいろな方に訪問して頂けるよう取り組んでいきたい。

